

0432 0433

第七号

決行指定



決裁指定

十年

保存期限

政務次官 同付 決裁前 連帯 課長

決行(決裁)後 同 課長

大臣 委

件名 泰國ニ俘虜收容所設置ノ件
受領 陸軍省 陸軍密受第四七〇〇號
起元(課)名 軍務課

了結 領受 出提 領受 號番

昭和 昭和 昭和
年 年 年
五月廿日 五月廿日 五月廿日

(裁決)行決 帶 遠 覽 回 後

局長 局長

長課 長課

參本十四

軍奉

俘虜管理課

陸軍省 陸軍密受第四七〇〇號
陸軍省 陸軍密受第四七〇〇號

筆記者 審案

0432 0433

第七頁

了結 領受 出提 領受 號番

昭 和 年 三 月 廿 四 日	昭 和 年 三 月 廿 四 日	昭 和 年 五 月 廿 日	昭 和 年 五 月 廿 日
--------------------------------------	--------------------------------------	---------------------------------	---------------------------------

(裁決)行決 覽回後 帶 速

局長 局長



主務課長 高級副官

長課 長課

軍務課
春本十四

停務管理課



主務副官 主務課員



參與官

書記官

審案 筆記者

決裁指定

十年

保存期限

件番受

名號領

泰國二俘虜收容所設置ノ件

陸亞密受第四七〇〇號

起元(課)名

軍務課

政務大官 同付 決裁前 課名

決行(決裁)後 同覽課名

陸王密電

次官より南方總軍參謀長、在泰武官宛
電報

南參三電第八五七號ニ関シ

泰國ニ於ケル俘虜收容所設置ノ件ニ関シテハ

貴軍ノ要望ニ副フヘク編成等ノ準備ヲ進

メアルモ佛印ニ於テ現ニ問題ヲ惹起シアル

陸軍

事情ニアリ佛印ト泰トハ勿論事情全ク異

レリト雖^雖其^其泰ノ面目ヲ立テ且發令後問題ヲ

惹起セサルタメ此際遠カニ泰側ト交渉セラレ

度結果回報相成度

五〇丁

昭和拾七年五月廿一日

通電先、岡(泰ハ参考)





陸軍

電報課 昭和一九五一八

軍務局長 苑 發信者 南方軍總參謀長

南參三電第八五七號

軍務電第九〇號返

一、泰國ト未ダ正式ニ協定セザルニ蓋支無キ見込ナリ（現在暹谷ニ印

度人俘虜一千ヲ收奪券番ニ就カシメアリ）

泰「ビルマ」運送鐵道所要ノ券番ハ俘虜二萬ニ期待シアルヲ以テ

是非必要トス

ニ南參三電第七七四號ノ後送希望數ハ内數ナリ

昭南島ノ俘虜ハ泰國ヘ移動ノ爲半減シ又「ジャバ」ハ人口過剩ニ

シテ主人停務等ノ救済使用ヲハ困難ナルニ鑑ミ先ツ「ジャバ」ノ
處理ヲ依頼セルモ陸軍省電第四八一號程度ノ後送ナラバ問題トナ
ラザルニ付當方ノ後送希望意見ハ撤回ス

三、所長所在ノ改善所位置ハ馬來「スマトラ」ハ昭南島「ジャバ」ハ
「バタビヤ」奈ハ「^{盤谷}バンコク」ヲ可トスル意見ナリ
尙比島ニ關シテハ送ツテ連絡ス

通電先 兵站總監ハ参考迄

(終)

陸軍密電

次官より司令部總參謀長、在森武官宛
電報

南參ニ電第一七〇號ニ関シ

當方ニ於テハ本月中ニ編成等ノ準備ヲ

完了スル必要アルニ付甚急交渉ノ上結

果返電アリ度

通電先、同(卷ニ参考)

五三〇
昭和拾七年五月廿六日



軍事

0440

回信

秘電報譯

次

官宛

發信者

南方軍總司令部謀略長

南参ニ電第一七〇號

五月十七日午前午後二時四十分發

發信地

檢閱者

陸

陸



一 泰國国内左記地點ニ係虜收容所ヲ設置

スベキニ付泰側ニ申入ラレ度

① 「バンヌーン」附近五千入分(一ヶ所)

② 「カシチヨンブリー」附近五千入分(一ヶ所)

③ 「ケエオノイ」河谷一萬人分(數ヶ箇所)

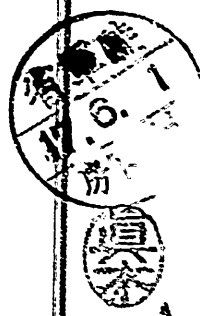
二 右ノ泰緬甸連接鐵道建設作業ニ六人當

手塚宗人

通電先 泰成館 (東京参考館)

(印)

陸軍省



検閲者

陸

軍

発信地

7

軍事課

秘電報譯

六月一日

日午前後一三時五分著

次

官宛

発信者 南方軍総参謀

南参二電 第二三〇號

陸軍省電 第五二〇號返

泰國ニ保虜收容所設置ノ件泰側ニ方

的ニ申入ヲナセリ当方トシテハ泰國ガ之ニ

異議ヲ差挟ムベキ筋ノモノニアラスト思

料シアリ

陸

陸軍省 17.6.2 第3139號

電号 4841

取扱番號

0442

陸軍省

軍事課